



平成28年度 子ども議会 開催



【スポットライト】
文化・スポーツ賞
津軽・東京吹雪の会
アスパラ収穫体験

【まちの話題】
ビーチボールバレー大会
発明クラブ閉講式
合併記録誌刊行

【お知らせ】
中泊町長選挙投票日
ほら吹き大会参加者募集
介護予防・日常生活支援総合事業

特集

子ども議会

新庁舎議場で初の一般質問
斬新なアイデアが……

開催5回目となる子ども議会。子どもたちの斬新なアイデアを町政に反映させようと、2月3日（金）役場議場で行われました。

今年、中里小学校から4人、武田小学校から2人、薄市小学校から1人、小泊小学校から2人が、町議会議員や議員の見守る中、子ども議員として町長と議論しました。

また、子ども議長は、中里小学校から古川萌子さん、武田小学校から新岡栞さん、薄市小学校から成田未空さん、小泊小学校から長谷川千華さんが務めました。

議会が始まり、小野町長が「みなさんが一生懸命考えてきた意見や斬新なアイデアは今後の町政の参考にします。この機会に行政と議会の仕組みをしっかりと学び、今回の経験を将来に活かすことを期待しています」とあいさつしました。

子ども議員9人が順に質問者席に立ち、パネルを使うなど工夫をこらしながら、町長に学級やグループでまとめた質問をぶつけていました。

最後は秋元副町長が「普段の学校生活、修学旅行での体験、放課後や休日の遊び場、町のPR方法、地球環境の問題まで幅広い内容の一般質問でした。皆さんからいただいた質問・提案は決して無駄にすることなく、まちづくりの参考にしていきます」と講評しました。



長谷川 千華 議長（小泊小6年）

とても緊張したけど、落ち着いて議事を進めることができました。みんな町を良くしようと考えていたのでもっと過ごしやすい町になると思いました。



古川 萌子 議長（中里小6年）

緊張することなく、はきはきと大きな声でできたのでよかったです。貴重な体験ができて嬉しかったです。



新岡 栞 議長（武田小6年）

少し緊張したけど、とても貴重な経験になりました。間違えたところもあったけど、楽しかったです。とても本格的な議会を体験できてうれしかったです。



成田 未空 議長（薄市小6年）

緊張したし、少しかんでしまいました。でも、大きな声でできたし、議長という貴重な体験ができてよかったです。

私たちが議長を務めました

町のPRグッズの販売について



三上 航平 議員
(中里小6年)

最初の質問者だったのでとても緊張しました。でも上手く質問できたので安心しました。

〈質問〉 私たちは修学旅行のとき、函館駅前で地元の人や旅行中の人に、町のPRをしたり、町の知名度を調査したりしました。219人に聞いたところ41人が中泊町の名前を知っていました。

そこで、町のキャラクターグッズを販売し、PR活動をもっと増やすことを提案します。3体のゆるキャラのイカリん・米ケル・米ケルJr.を始め、中泊メバルキャラクターのメバルの妖精「テンちゃん＆カラカラ」のグッズ販売を広げることで、町の知名度を高め、町への収入も期待できると思うのですがいかがでしょうか。

〈答弁〉 小野町長

3体のゆるキャラのグッズは、バッチ・タオル・シールなどを製作しています。これは、非売品であることから、今後、販売について検討して参りたいと考えています。「テンちゃんとカラカラ」は中泊メバル料理推進協議会が考えたキャラクターであり、グッズとしてストラップを新幹線開業記念品として、非売品で製作しました。今後、販売するとなると協議が必要となりますが、前向きに検討したいと考えています。

桜つつみ公園の整備について



利 晴空 議員
(武田小6年)

すごく緊張したけど、しっかり質問することができました。他の人の質問も、いろいろな意見が出ていたし、初めての体験だったので、いい経験になりました。

〈質問〉 学校の近くの旧武田中学校の所に、桜つつみ公園があります。でも、草がたくさん生え、実際に遊べるのはほんの少しのスペースだけです。また、そこにある遊具はとても古く、遊ぶには危険です。そこで、桜つつみ公園の整備をして、みんなで遊べる公園にしてほしいです。例えば、草刈り、必要のない物の撤去、遊具やベンチの設置などです。子どもからお年寄りまで安心して、楽しく過ごせる公園ができれば、みんなの交流の場として使えると思います。明るい町づくりのために、ぜひ、よろしくお願ひします。

〈答弁〉 小野町長

公園内の草刈りは回数を増やし、憩いの場として利用できるようにし、きれいな環境で、安心して楽しく遊んでいただけるよう、改善に努めて参ります。遊具は、業者に点検をお願いして、機能に関する総合的判断を行っています。利用状況、安全基準に基づき、計画的に危険なもの撤去しなくてはなりません。しかし、多額の費用がかかるため、小学校の遊具を優先して取り替え、その他の公園の遊具は、取り外しや、使用中止にしています。ですので、小学校の遊具を使うようお願いいたします。

地元の食材を使用した給食の献立



菊地 夕楓 議員
(中里小6年)

とても緊張したけど、貴重な体験ができたので良かったです。

〈質問〉 中泊町の食材を学校給食の献立にもっと取り入れて、ふるさとの味を小中学生に伝えてはいかげでしょうか。私がこれまでに給食で食べた地元の食材は、のしいか、いかげそれから揚げ、アスパラサラダ、米粉パンなどが心に残っています。

是非、中泊町の食材を使った料理、例えばメバルを使った料理などを給食に出して、地元の食材のよさをアピールしてはどうでしょうか。

〈答弁〉 小野町長

大変すばらしいアイデアだと思います。地産地消の推進や地域の活性化にもつながるものと期待されます。

地元産の食材としては、トマトやアスパラガスなどの野菜類、イカ、お米を購入しています。関係者と意見交換や協議をしながら、地元食材を給食にもっと取り入れるよう努めてまいります。

また、メバルを使った料理のご提案ですが、メバルは高価な魚であることから、頻繁に、とは参りませんが、関係者と相談しながら、早い段階で実現できるように検討したいと考えています。

交通量の多い交差点に、横断歩道や信号機を設置してほしい



久保田 希空 議員
(小泊小6年)

とても緊張したけど、速くなりすぎず話せて良かったです。質問に町長がしっかり応えてくれてよかったです。

〈質問〉
小泊の北旗建設付近の交差点に信号機があります。そこは、交通量が多い交差点です。しかし、横断歩道が無く、危険だと感じました。

また、お魚海岸付近のT字路にも信号機が無く、道路を曲がる時に見づらいので不便を感じると、下前地域の人が話していました。

そこで、地域の安全のためにも交通量の多い交差点などに、横断歩道や信号機の設置を要望します。

〈答弁〉 小野町長

信号機や横断歩道は県の公安委員会の判断となり勝手には整備できない状況です。設置は、車の交通量や道路の形状、待機スペース、通学路かどうかが主な基準となっており、総合的に考慮しながら、優先順位に基づいて設置をしているそうです。

これまで町でも、ご質問のT字路などに信号機や横断歩道の設置を要望してきましたが、まだ実現されていません。これからも地域の関係者と連携を深め、将来を担う子供たちや高齢者、ドライバーがお互い安全で住みよい地域づくりのため、横断歩道や信号機の設置を強く関係機関に働きかけて参りますので、どうかご理解いただきたいと思います。

街灯の設置について



野上 菜采 議員
(薄市小6年)

とても緊張しました。町長から街灯を設置してくれると聞いて安心したし、とても驚きました。

〈質問〉
薄市小学校の坂を降りて、佐々木鍬金の前を通る細い路地は、街灯はついていますが、暗いです。理由は、街灯の間隔が広い、明かりが全体を照らしていない、明かりそのものが暗いことなどが考えられます。後輩にも安心して学校から帰ってもらいたいので設置をよろしく願います。

参考までに電力が少ないLEDライトや太陽パネルで蓄電する街灯などを設置すればエコだと思えます。また、防犯のために青いライトを設置している市町村もみかけます。

〈答弁〉 小野町長・飯塚総務課長

ご質問のあった道路については、すぐに対応したいと思えます。それでも未だ十分でない場合、検討させていただきたいと思えます。

現在、町の街灯の大部分は白色の蛍光タイプですが、LED街灯に切り替えていきます。ソーラーパネル式の街灯は、役場前の道路と稲荷山への避難道路に設置しています。ブルーライトは、雨や霧の中では視界が低くなるとされていますので、それぞれの特性を活かし、価格面なども考慮しながら検討して参りたいと考えております。

特産品の開発と食のイベント開催について



葛西 竜ノ介 議員
(中里小6年)

質問するとき、少しかんでしまったけど、最後まで間違わずに言えたので良かったです。

〈質問〉
中泊町には、大地や海からの恵みにより、たくさんのおいしい食材があふれています。

地元の食材を使った料理教室を開き、創作料理やお菓子作りなどを通して、特産品の開発をして売り出すということを考えました。開発した特産品は地元の人に食べてもらったり、町のホームページや動画サイトに投稿したりして、多くの人に広めたりするのはどうでしょうか。

また、近くの市や町と協力してグルメを集めた食のイベントを行うことはできないのでしょうか。

〈答弁〉 小野町長

最近の特産品の開発状況ですが、ブルーベリーを使用したジュレ、中泊産のもち米を使用した潮干餅が完成され販売されています。今後も、町農産物加工販売施設などを活用し、特産品の開発に取り組んでいきます。また、メディアなどを通じ、地域の魅力をより効果的に発信するよう、検討していきます。

食のイベント開催ですが、「活ハママつり」などを開催し、地元の農林水産物をPRしています。今後、津軽半島地域の自治体と連携し、各地域のグルメを集めたイベントを検討していきます。

体育館の屋根の修理について



三上 晃羽 議員
(武田小6年)

不安だったのでとても緊張しました。でも、自信をもって、みんなに聞こえるように、はきはきと大きい声で言えたと思います。とてもいい経験になったと思いました。

〈質問〉

体育館のストープが、冬休みから三学期にかけて設置されました。本当にありがとうございます。

その武田小学校の体育館についてお願いがあります。体育館の屋根のことです。雨が降ると雨漏りがあるため、ぞうきんやバケツ、コーンを置いていますが、それでも、すべて危険だったり、使える場所が狭くて不便だったり、大変困っています。

そこで、安全で思いっきり運動ができるように、体育館の屋根の修理をお願いしたいと思います。

〈答弁〉 小野町長

体育館のストープ設置の件ですが、役場新庁舎移転にともない、旧庁舎の議場で使われていたものを有効利用して、設置したものです。「もったいない」と思う気持ちから、再用品での設置となりました。

今回ご質問の「体育館の屋根の修理について」ですが、ご心配とご不便をお掛けして、大変申し訳ありませんでした。冬期間に屋根に登って作業することとは、大変危険であることから、天候が回復する春以降、早急に補修工事に取りかかる予定になっておりますので、今しばらくお待ちいただくようよろしくお願いたします。

中泊メバル膳を県外にもっとアピールしてほしい



秋田 愛香 議員
(小泊小6年)

小泊のことをたくさん知ることができ、とても勉強になりました。貴重な体験ができ、いい思い出になりました。

〈質問〉

中泊町に来てメバル膳を食べられない県外の人にも自宅でメバルを食べられるような商品がないか、もっとメバルをたくさんの人に食べてもらえるようになってほしいと学級で話題になりました。4万食、5万食をめざし、小泊のメバルを食べてもらいたいと思っています。

そこで、県外の人に向けてどのようにメバル膳をアピールしているのか質問したいと思います。

〈答弁〉 小野町長

メバル膳の利用者の、約90%が町外、そのうち県外からは約8%が町まで来ていただいています。

「中泊メバル膳を県外にもっとアピールしてほしい」の提案は、外貨を獲得することで町の経済を活性化させる、素晴らしいアイデアだと思います。

県外の人に向けてのアピールは、中泊メバル膳のホームページやフェイスブック、リーフレット、また、じゃらんのパンフレットや新聞社のタブロイド紙などでPRを行っています。

今後の中泊町を元気にするために、「食」による観光まちづくりの推進に取り組んでまいりますので、よろしくお願申し上げます。

地球環境にやさしい町づくりについて



工藤 珠奈 議員
(中里小6年)

とても緊張してうまく質問できなかったけど、いい経験になりました。

〈質問〉

町の美しい自然がこれからも守られるように「地球環境にやさしい町をつくる」という提案をします。一つ目は、自然エネルギーです。太陽の光と熱、風力などのエネルギーを町の施設や各家庭で利用することで、節約になるのではないのでしょうか。

次に二つ目は、廃油を利用した取り組みです。廃油を使ったエコカーや、バスを走らせることで、町をきれいにしようという意識が高まり、住みよい快適な町になるのではないのでしょうか。

〈答弁〉 小野町長・飯塚総務課長

町では、環境にやさしく資源を循環する町を目指し、再生可能エネルギーの活用を進めていくこととされています。新庁舎も、車庫棟の屋上に太陽光パネルを設置、冷暖房は木質ペレットボイラーを設置し自然環境に配慮しています。バイオディーゼル燃料は、一定量を常時確保できるかの問題などもあり、未だ取り組んでいません。町で行われている廃油の利用例としては、冬期間のハウス栽培の暖房用、EM石鹸の原料などです。環境にやさしく資源を循環するまちづくりを目指しておりますので、取り組めるよう積極的に検討したいと思います。

3 団体、個人52人が受賞

平成28年度
町教育文化賞・スポーツ賞



町の文化・スポーツに功績のあった人や優秀な成績を取めた個人・団体に贈られる教育委員会文化・スポーツ賞授与式が、2月19日(日)パルナスで行われました。

式では、表彰状や記念メダルなどの授与、主催者や来賓の挨拶が行われ、受賞者の活躍を讃えました。

受賞者を代表して、私立五所川原第一高校3年・古川真衣さんが「日頃の活動が評価され受賞できたことを大変光栄に思っています。これからも町の文化とスポーツのますますの発展と躍進を目指し、より一層の努力を重ね精進していきます」と謝辞を述べました。

☆受賞者(カッコ内は所属・学校・学年。敬称略)

■文化賞

【文化奨励賞】

写真：外崎新一

【青少年文化奨励賞】

そるばん：青山和奏(薄市小5年)／

書道：菅原有紗(武田小3年)・外崎

權(武田小5年)・佐々木里(五工高

1年)／標語：宮腰清花(中里中2

年)／農林水産：佐々木陸(五農高3

年)／芸能：今陽那登(五一高3年)

／音楽：藤本裕貴(五一高1年)・竹

内花子(五一高2年)・佐藤星恩(五

一高2年)・山中唯華(五一高2年)・

鈴木玲緒(五一高2年)・中谷鈴奈(五

一高2年)・敦賀楓恋(五一高2年)・

越野莉音(五一高2年)・古川真衣(五

一高3年)

■スポーツ賞

【指導者賞】

田中礼悦(中泊町体育協会・スキ

一部)

【団体賞】

町体育協会陸上競技部・中泊道場・

中里中学校男子柔道部

【努力賞】

相撲：奈良昴(薄市小5年)・成田力

道(薄市小6年)／陸上：鈴木力(中

里小4年)・外崎隼矢(中里小5年)・

成田来河(中里小5年)・鈴木龍星(中

里小5年)・松谷温翔(中里小6年)・

小野倅太郎(中里小6年)・坂田陽(中

里小6年)／柔道：佐藤秀磨(武田小

1年)・佐藤優成(武田小3年)・佐

井川友也(武田小3年)・片山謙心(武

田小4年)

【奨励賞】

陸上：佐藤風雅(中里中2年)・藤崎

桂司(五工高2年)・宮越晃一(弘実

高2年)・岡駿岳(木造高3年)・白

塚勇人(体協陸上部)・永坂貴雄(体

協陸上部)・川浪貴久(体協陸上部)・

田中礼一(体協陸上部)・野上新二(体

協陸上部)・野上千春(体協陸上部)・

成田利紀(体協陸上部)・鈴木功也(体

協陸上部)・鈴木悠太(体協陸上部)・

成田光(体協陸上部)・長谷川実里(体

協陸上部)・今垂利沙(体協陸上部)・

伊藤達哉(体協陸上部)／ソフトテニ

ス：工藤芽依(中里中2年)・葛西美

紀(中里中3年)・葛西萌瑚(弘実高

3年)／柔道：野上莉来奈(中里中2

年)・今楓香(中里中3年)・野上凜

音(弘実高3年)／ウエイトリフティ

ング：古川優(体協ウエイトリフテ

ィング部)・大川敏広(体協ウエイト

リフティング部)／野球：伏見有史

(富士大3年)／卓球：村上莉羽(東

奥学高2年)／水泳：小山内元気(中

里中3年)／相撲：成田花道(中里中

3年)／スキー：成田隆星(※東洋大

4年※現在卒業)



採れたての甘さびびり

小泊・薄市小3年生が冬のアスパラの収穫体験

冬の農業としてアスパラガス栽培を行っている佐藤イネ子さんが、1月31日(火)、薄市地区のビニールハウス農園で、小泊小学校と薄市小学校の3年生を招き、収穫体験を行いました。

この日は、気温の低い日となりましたが、中に入るとストーブが焚かれていて児童たちは「あつたかい」と驚いていました。佐藤さんがアスパラがどのように育ってくるかなど説明したあと、児童たちは、温度管理するための廃油ストーブに使用済み天ぷら油を給油する作業を手伝いました。



次はアスパラの収穫に挑戦です。イネ子さんの指導のもと、食べ頃の大きいアスパラをはさみで切り1人2本ずつ収穫しました。

収穫したアスパラガスは、アルミホイルに包んでストーブにのせて蒸し焼きにして食べました。子どもたちは「甘くてびびりした。苦手だったけどおかわりしたい」と笑顔で食べていました。このアスパラは学校給食にも提供されています。

昔話に花が咲く

町出身者の会「津軽・東京吹雪の会」

首都圏に在住する町出身者で構成される「津軽・東京吹雪の会」の総会・懇親会が、2月11日(土)、上野精養軒で開催され、約80人が参加しました。

開会で長利秋由会長が、「この吹雪の会も第30回を迎えることができた。支えてくれるみなさんのおかげです。これからも継続して盛り上げていきましょう」と述べました。

町からは小野町長、兵庫町議会議員が出席しあいさつを述べました。また、スぺシャルゲストとして、阿武咲関が参加し、来場所の活躍を誓いました。

懇親会が始まると、会員たちは昔話や近況を報告しあい、賑やかな会場となりました。また、カラオケやブルーベリーのジュレや中里高校SBPセレクトギフトボックスなどの町特産品が当たる抽選会を楽しみました。



全国コンテスト入賞

外崎新一が町長を訪問



外崎新一さん(八幡)が第31回障害者による書道・写真全国コンテストの写真部門で銅賞を受賞しました。2月22日(水)に、小野町長を訪問し、受賞の報告をしました。町長は「全国とはすばらしい。これからも賞を取れるようがんばってほしい」と激励しました。

受賞を受けて外崎さんは「受賞できてうれしい。次も入賞目指して写真・習字を頑張るので応援よろしくお願いします」と話していました。

小泊の記録を中心に1200ページ

合併記録誌刊行

編さん委員会が進めていた『中泊町合併記録誌－旧小泊村「とひょう」会誌総集編－』がこのほど刊行されました。この記録誌は、小泊地域の歴史を記録している「小泊の歴史を語る会」(会長・柳澤良知)の会誌である「とひょう」を1～9号まで合冊し、今回新たに10号を編集したもので、あわせて旧中里地域の歴史と合併前後の記録も入れ込んだものです。先に行われた新庁舎落成記念式典の記念品としても活用されました。ご希望の人には、1冊4,000円でお買い求めできます。ほしい人は、役場総務課までご連絡ください。



少子高齢化をテーマに研究

明の星短期大学講師が調査報告

地域の課題である少子高齢化に関して、町では、連携している青森明の星短期大学に調査をお願いしていました。2月22日(水)、役場会議室で明の星短期大学専任講師の進藤将敏先生が「高齢期における記憶違いと楽観性の関連について」と題して調査・研究の報告を行いました。

先生はこの研究について、嘘が本当のこととして記憶されてしまうこと(記憶違い)に着目し、記憶違いは楽観性と関係するという仮説をたて、中泊町の高齢者と本学の学生に3つの課題を実施して、そのデータを比較しながら相関分析を行った結果、

仮説は「楽観性が高い高齢者に対して」支持されたと説明されました。



毎年恒例！そば打ち

発明クラブ閉講式

どまり少年少女発明クラブが2月25日(土)、日本海漁火センターで閉講式を行いました。子どもたちは1年間の活動を振り返り、思い出に残ったことなどを発表しました。

また、熊木敏彦氏を講師に迎え、今年度最後の講座「そば打ちに挑戦！」を行いました。何年も挑戦してきた中学生は手つきも本格的で、ときばきとこなしていきました。初挑戦した小学生は、ついていくのが大変そうでしたが、楽しそうにそばを打っていました。自分で打ったそばを食べると「美味しくできてよかった。次はもっと上手に作りたい」と笑顔で話していました。





健康寿命を伸ばそう

平成28年度北光寿大学閉講式

小 泊地域の高齢者が充実した日々を過ごすために開講している北光寿大学(学長・柳澤良知)が、今年度最後の学習会と閉講式を2月13日(月)、日本海漁火センターで行いました。学習会では青森県立中央病院の小野正人医師が健康寿命について講演し、受講生らは「テレビで見る時と同じように面白く、とても参考になった。寝たきりにならないよう、意識して体を動かすようにしたい」と話していました。

その後の閉講式では、参加した受講生全員で謝辞を述べて1年間の学習活動を締めくくりました。北光寿大学では来年度も受講生を募集します。詳しくは「町からのお知らせ」のページをご覧ください。

かわいいキャンドルできました

キャンドル&雪灯籠づくり

中 央公民館が1月28日(土)、町活性化施設と特産物販売所ピュアの駐車場でキャンドル&雪灯籠づくりを行いました。

16人の子どもたちが参加し、始めにキャンドルづくりが行われました。いろいろな色のロウを丸いキャンドルに貼り、オリジナルのキャンドルを作りました。カラフルな色合いや、花やキャラクターを模したキャンドルができ、満足げな表情をみせていました。

外に出てからは、雪灯籠づくりに挑戦しました。バケツにパイプを入れ、その周りを雪で固めてからパイプを抜き、バケツから出すと雪灯籠の完成です。何度か失敗しながらもコツをつかんだ子どもたちは、ときどきと駐車場に灯籠を設置していました。

この日は、風が強く、灯籠の中にキャンドルを設置することはできませんでしたが、翌日は灯りがともされ、駐車場を優しい灯りで照らしていました。



名勝負の数々

ビーチボールバレー大会

冬 の運動不足の解消や交流を目的にビーチボールを使ったバレー大会が、2月5日(日)、小泊小学校体育館で行われました。

大会には、10チームが参加し、応援など合わせて約100人が集まりました。参加者らは予選リーグ、決勝トーナメントで争いました。中学生チームも参加し、一般チームに挑戦しました。参加した選手たちは「今年こそ優勝と思ったが残念。気持ちのいい汗をかくことができました。また来年挑戦したい」と話していました。

■大会結果

1位・アタックNo.1 / 2位・活ハマクラブ / 3位・小泊婦人会



中泊町長選挙 投票日は4月9日(日)

問 役場選挙管理委員会事務局 内 2314

■投票できる人

次の条件をすべて満たす人です。

- 満18歳以上の人(平成11年4月10日以前に生まれた人)
- 町に3か月以上居住している人(4月3日時点で、転入届が出されてから3か月以上経過した人)
- 転出していない人

■立候補届出日(告示日)……4月4日(火)

■期日前投票……4月5日(水)～8日(土) 午前8時30分～午後8時

○投票場所

中里地域…役場小会議室

小泊地域…日本海漁火センター第1研修室

※中里地域の期日前投票所は、今回から新庁舎小会議室で行います。

■不在者投票(出稼ぎ先での投票など)

3月22日(水)から、不在者投票の発送予約を受け付けます。

①申込書を書いていただきますので、ご家族や代理の人は役場小会議室においてください。

②投票方法…書類が申込書で指定した住所に届く → 投票者が身分証明を持って最寄りの選挙管理委員会に行く(投票方法は選管担当者が指示します) → 選管担当者が町へ投票用紙を返送

③ご注意…4月5日(水)からでないと投票できません。

期間…4月5日(水)～4月8日(土)

ただし、投票日まで投票用紙が到着しないと無効になります。また、土曜日に閉庁している役場では、土曜日に投票できません。お早めの投票をお願いいたします。

■不在者投票(県選管の指定病院・施設などでの投票)

病院・施設の職員に、投票したいことを申し出てください。決められた日に病院・施設内で投票しますので、早めにお申し出ください。

「中里高齢者教室」
学級生募集

問 中央公民館 ☎57-2341

○募集対象…中里地域に在住する満60歳以上の高齢者で、年間を通じて学習意欲のある人。男女不問。

○申込方法…中央公民館まで年会費1,000円を添えてお申込みください。

○申込期間…4月14日(金)まで

○その他…興味がある人はご連絡ください。その都度、募集を取らせていただきます。

第3回 中泊町うそ八百・ほら吹き大会開催

問 駅ナカにぎわい空間実行委員会(役場水産観光課内) 内 1613

津軽中里駅内の駅ナカにぎわい空間において、「第3回中泊町うそ八百・ほら吹き大会」が開催されます。あなたの夢のある「ほら」を発表しませんか？ 誰でもお気軽にお申し込みください。

■主催…駅ナカにぎわい空間実行委員会

■期 日…4月16日(日) 13:00～16:30(予定)

■場 所…津軽中里駅「駅ナカにぎわい空間」

■募集人数…先着10組(1組2人以上でも可)

■参加料…無料

■その他…発表時間は8分間、資料や機材などの使用は自由ですが、その場合は各自でご準備ください。

*申込みや詳しい内容は、問合せ先まで。



平成29年4月1日から 介護予防・日常生活支援総合事業 【総合事業】が始まります！



介護や生活支援を必要とする高齢者、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加していくことが予想されます。町では、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送るために【総合事業】を開始し、地域の実績に応じて、サービスを総合的に提供できる仕組みに見直し、地域での支え合いの体制づくりを進めていきます。

●移行するサービス内容

要介護状態区分などが「要支援1」又は「要支援2」の人が利用する介護予防給付(介護予防サービス)のうち、訪問介護(ホームヘルプ)と通所介護(デイサービス)については、総合事業に移行し、町の事業(サービス)として実施します。これまでサービスを提供していたサービス事業者だけでなく、民間企業やボランティアによるサービス提供が可能となり、一人ひとりの状態にあった介護予防のサービスが利用できるようになります。



●総合事業(訪問型サービス、通所型サービス)の対象者

次の①②のいずれかに該当し、ケアマネージャーによるケアプランが作成された人です。

①要支援1または要支援2の認定を受けており、訪問介護、通所介護を利用されている人

②基本チェックリストにより総合事業の対象者と判定された人

※チェックリストとは普段の生活状況や健康状態などを確認する調査票です。総合事業の対象者と判定された人は、要支援認定を受けていない場合でも訪問型、通所型サービスを利用することが出来ます。

※40歳から64歳の人(第2号被保険者)は基本チェックリストによる判定は行われなため、「要支援・要介護認定申請」が必要となります。

【お問い合わせ】

役場福祉課介護保険係 内1515・1517

中泊地域包括支援センター(中泊町体育センター内) ☎57-3601



「北光寿大学」聴講生募集

内 1923
町 教育委員会社会教育課

平成29年度「北光寿大学」聴講生を次のとおり募集いたします。知識や教養、健康増進など楽しく学べる学習を予定していますので、男女を問わず多数お申込みください。

○学習内容

・教養学習(講話・芸能)、バス遠足、野外レク、室内運動会など

○クラブ活動(手芸、コーラス)

○募集対象：小泊地域在住の高齢者

○申込先：各町内世話役

・花丘町―長谷川満子

・若葉町―角田トキ

・新町―久保田松江

・派立―澤田アキ/内海さつ

／久保田幸代

・上町―藤田千多/柏崎幸江

・浜町―熊木友子/大石和子

・入舟―葛西敏子/佐藤ふじ江

・温泉町―柳澤祥子

・折戸―浜野千栄子

・下前上―奈良絹子

・下前中―磯野千夜子

・下前浜―藪田みゆり

○申込締切：4月7日(金)

障害福祉サービス情報 ☎ 役場福祉課福祉推進係 ☎ 1512

障害者手帳をお持ちの人は、下記のようなサービスを受けられる事があります。詳細につきましては、問合せ先へご連絡ください。

項 目	内 容
自動車税、 自動車取得税	○は家族所有・運転可(この場合は福祉課又は支所から発行される生計同一証明書が必要) △は本人所有・運転 ※はそれぞれ、両方の上下肢に係る障害が該当、片方のみは非該当 ・自動車税、自動車取得税は県税事務所(☎0173-34-2111)
自立支援(更生)医療	対象となる例：原則1割負担(上限あり) じん臓→透析療法 心臓→弁口心室心房中隔に対する手術、ペースメーカー埋込術 肢体→人工関節置換術 肝臓→肝臓移植術、肝臓移植後の抗免疫療法
補装具費給付	原則1割負担(上限あり) 盲人安全つえ、補聴器、装具、車いすなどの購入及び修理 ※介護保険の給付対象となる場合は、介護保険が優先
日常生活用具	品目ごとに障害種別、程度が異なる。ストーマ装具、※紙おむつ、歩行支援用具、ネプライザー、特殊寝台、特殊マット、盲人用時計、※住宅改修など ※他法優先で自己負担は補装具費に準じる。
重度心身障害者医療	1～3級(3級は内部障害者のみ)65歳以上で新たに重度障害者となった人は非該当、社会福祉施設などに入所するまへの居住地が他都道府県である場合は非該当。自立支援医療、後期高齢者医療制度などの他法優先となる。
有料道路	半額：身体障害者が自ら運転する場合。第1種・愛護A障害者の移動のために介護者が運転する場合。 福祉課又は支所で手帳に記載を受ける(E T Cは証明書の発行を受け事業者へ郵送する)
N H K	全額免除：手帳保持者が世帯に属する非課税世帯 半額免除：世帯主が視覚・聴覚障害又は肢体・内部障害1～2手帳保持している世帯 ※支所又は福祉課で手続きをする。
在宅福祉タクシー助成	在宅で身体1または愛護A保持者が利用する場合、660円助成する。 (町内のタクシー業者に限られる 660円×12枚)※福祉課又は支所で手続きが必要。

愛車の住所変更はお忘れなく

☎ 西北地域県民局県税部納税管理課
☎ 0173-34-3141

自動車税の納税通知書は、原則として4月1日現在での自動車登録の住所(車検証に記載されている住所)にお送りしています。引っ越しなどで住所が変わったときは、運輸支局で住所の「変更登録」を行う必要があります。

3月中に変更登録の手続きができない場合は、最寄りの地域県民局県税部までご連絡ください。

また、「青森県電子申請・届出システム」から届け出すこともできますので、詳しくは県ホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/top.html>
をご覧ください。

優良運転者表彰のお知らせ

☎ 交通安全協会 ☎ 34-5650
☎ 北部分会 ☎ 52-2442

五所川原警察署長・五所川原地区交通安全協会会長連名の平成28年度「優良運転者表彰」を実施しますので、次に該当する人はお申込みください。

- ①現在も運転している、10年以上の無事故・無違反の人。
- ②運転免許証の住所が中泊町の人。
- ③協会加入5年以上の会員で、触法行為が無く地域の支部長が推薦する人。
- ④運転免許証に記載された最も古い「取得年」が次のいずれかに該当する人。

昭和26年・31年・36年・41年・46年・51年・56年・61年・平成3年・8年

■受付期間…4月10日(月)まで

申込書は、当協会事務局(警察署・金木分庁舎内)と地域の支部長にあります。なお、申込み時に無事故・無違反証明書(1ヶ月以内のもの、SD申請料630円)、印鑑が必要です。ご不明な点は、協会事務局までお気軽にお問合せください。

小泊地域公民館教室受講生募集

☎ 教育委員会小泊事務所 ☎ (64)2679

次の教室を小泊地域で開講します。希望する人はお申込みください。

■実施期間…4月～9月頃 15回

■受講料…1教室 2,000円

■対象者…一般

■教室内容



日本海漁火センター

教室名	開講日時	講師
パッチワーク教室	木曜日午前9時30分～	成田やよゑ(下前上)
手芸教室	木曜日午前9時30分～	鈴木 梅子(温泉町)
英会話教室	火曜日午後7時30分～	ドニー・マイケル(花丘町)
華道教室	木曜日午後7時～	加藤かつ(小泊派立)
陶芸教室	火曜日午後1時～	小山内文明(市浦十三)
エクサ&ヨガ教室	水曜日午後7時～	成田 寿子(木造)

※エクサ&ヨガ教室は、親子での参加も可(小学3年～中学3年)

すくすくしたまえ館

教室名	開講日時	講師
和裁教室	金曜日午前9時～	成田リキ子(下前上)

■申込締切…3月23日(木)まで

■申込場所…教育委員会小泊事務所・すくすくしたまえ館まで(申込用紙を備え付けています)

マイナンバー制度とは?

☎ 総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178

マイナンバー制度のことを何回かに分けてお知らせしています。

どんな時にマイナンバーは必要なの?

平成28年1月から、順次、社会保障、税、災害対策の行政手続でマイナンバーが必要です。具体的には、以下のケースで提供していただく必要があります。

- ・年末調整や、源泉徴収票の作成、雇用保険の手続で勤務先へ
- ・雇用保険の失業給付の手続でハローワークへ
- ・資産運用の手続で銀行や証券会社へ
- ・福祉や介護の手続で市区町村へ
- ・税の確定申告などの時に税務署へ
- ・児童手当や出産育児一時金などの申請時に市区町村や保険組合へ
- ・生命保険、損害保険、共済の受取時に保険会社や組合へ
- ・災害時の支援制度の利用申請時に市区町村へ
- ・アルバイトやパートを始める時にバイト先やパート先へ

畜産農家、トマト、マメ科牧草などを作付けする農家の皆様へ

☎ 県農林水産部食の安全・安心推進課

☎ 017(734)9353

海外で使用された農薬成分(クロピラリドという日本での使用は認められていない農薬)が残留した輸入粗飼料が家畜に給与された場合、堆肥を通じて、トマト、スイートピーなどの園芸作物や、マメ科牧草などの生育に障害を起こす可能性があります。

被害を未然に防ぐために、次のことに注意しましょう。

①堆肥の情報を確認しましょう。

輸入粗飼料を購入する際には、履歴を確認しましょう。

当該飼料にクロピラリドが残留している可能性があるかどうか、必ず販売業者に確認し、その記録を残しましょう。

②堆肥(排せつ物)を販売・譲渡する際には、情報を伝達しましょう。

クロピラリドが残留している可能性がある飼料を給与した家畜に由来する堆肥(排せつ物を含む)を、耕種農家や堆肥センターに販売・譲渡する際には、「この堆肥はクロピラリドが残留している可能性があるため、使用に当たっては留意する必要があります」ことを必ず伝達しましょう。

③マメ科牧草に堆肥などを施用する場合には、留意が必要です。

生育障害が出ないことについての確認や、堆肥製造時の活性炭の混合などの被害軽減対策を実施した上で施用しましょう。

トマト、ナス、大豆、スイートピー、マメ科牧草などの作物はごく低濃度でも障害を引き起こされる可能性があります

クロピラリドが原因と疑われる症状がみつかったときは、地域の農業普及振興室へ速やかに相談しましょう!!

広告

29年度産 飼料用米買います!!

【持込手取り価格】 もみ米で **10円/kg (税込)**
(玄米換算価格13円/kg (税込))

【引取手取り価格】 もみ米で **9円/kg (税込)**
(玄米換算価格12円/kg (税込))



株式会社 木村牧場【飼料課】

TEL:0173-22-6875 (平日:9:00~16:00)

事務手数料、倉庫保管料、八戸までの運賃などは弊社が負担致します!!
また、面倒な役所等への書類作成や提出も弊社が行います!!

弘前市年金事務所では移動年金相談を開催します

☎ 弘前年金事務所 お客様相談室 ☎ 0172-27-1309

移動年金相談（完全予約制）

〔五所川原市地区〕

場 所…五所川原市役所(北棟5階会議室)
実施日…第2水曜日(4月～3月開催)

実施年月日	曜日	相談時間	
平成29年	4月12日	水	
	5月10日		
	6月14日		
	7月12日		
	8月9日		10:00
	9月13日		}
	10月11日		15:00
	11月8日		
	12月13日		
平成30年	1月10日		
	2月14日		
	3月14日		

〔つがる市地区〕

場 所…つがる市役所(2階相談室)
実施日…第4水曜日(4月～3月開催)

実施年月日	曜日	相談時間	
平成29年	4月26日	水	
	5月24日		
	6月28日		
	7月26日		
	8月23日		10:00
	9月27日		}
	10月25日		15:00
	11月22日		
	12月27日		
平成30年	1月24日		
	2月28日		
	3月28日		

◎予約は問合せ先まで。

※代理の人が相談される場合は、「委任状(任意のもので構いません)」、代理の人の「身分証明(運転免許証、保険証など)」が必要となります

松くい虫被害・ナラ枯れ被害の予防

☎ 西北地域農政局地域農林水産部林業振興課
(72)66613
☎ 役場農政課林務畜産係 ☎ 1812

松くい虫被害は、昆虫が運ぶマツノザイセンチュウという線虫によつて松が枯れる伝染病のことで、県内では平成27年7月以降に発生しています。また、ナラ枯れ被害は、昆虫が運ぶナラ菌により、ミズナラ・カシワなどのナラ類が枯れる伝染病です。

これらの被害が、各地で発生するようになると、産業・経済のほか、本県が誇る自然景観や観光資源などに大きな影響を与えます。

被害の拡大を防ぐためには、次のことにご協力をお願いします。

①線虫やナラ菌を運ぶ昆虫は、伐採した際に発生する臭いに集まる習性があるため、昆虫の活動期(6～9月)には、マツとナラ類を伐採しないようにしましょう。

②マツの丸太や苗木、ナラの丸太を他県から持ち込むと、県内に被害を呼び込む可能性があるので、県内産のものを利用しましょう。

③葉が黄色に変色したり、枯れたマツやナラ類を早い段階で取り除くことが大切です。自宅の庭木や街路樹、山林など、身の回りで枯れている、または枯れかかっているマツやナラ類を見かけたら、問合せ先までお知らせください。

広告

小規模多機能型居宅介護「ふれあいホームいこい」平成29年5月開設予定

この施設は「通い」「訪問」「宿泊」の三つの介護サービスを柔軟にご利用できることです。地域密着型サービスでありますので、五所川原市に居住されている方に限定となります。又、この事業以外に認知症高齢者グループホーム「憩いの家」なども運営しており、事業拡大につき「登録ヘルパー」を募集しております。頼れるあなたチャレンジしませんか。

なお、右は五所川原市漆川字浅井143-4に現在建築中の完成予想図です。

お問い合わせ…仮事務所：五所川原市松島町4-55
「小規模多機能型居宅介護 ケアホームのりた」
TEL0173-34-4856(担当:成田)
http://norita-group.com/



ふるさと納税 ありがとうございました

- 寄付金額1万円
 - 〈東京都世田谷区〉 植野 禎仁様
 - 〈埼玉県川口市〉 三上 浩司様
 - 〈東京都品川区〉 古賀 英考様
 - 〈大阪府堺市〉 長友 球生様
 - 〈岩手県大船渡市〉 鈴木 由也様
 - 〈埼玉県新座市〉 上村 国二郎様
 - 〈兵庫県尼崎市〉 兵頭 英出夫様
 - 〈大阪府大阪市〉 村川 浩一様
 - 〈東京都杉並区〉 宇野 総一郎様
 - 〈宮城県仙台市〉 大河内 眞也様
- 寄付金額2万円
 - 〈東京都目黒区〉 上利 大輔様
 - 〈神奈川県大和市〉 西宮 一雄様
 - 〈東京都中央区〉 李 艶様
 - 〈福岡県飯塚市〉 木村 達様
 - 〈東京都文京区〉 小西 紀子様
 - 〈千葉県我孫子市〉 馬場 弘様
- 寄付金額3万円
 - 〈埼玉県蕨市〉 中山 順今様
- 寄付金額5万円
 - 〈長野県長野市〉 油井 薫様
 - 〈兵庫県芦屋市〉 田中 森様

造林用の苗木・特用樹・緑化木販売します
 関 役場農政課林務畜産係 1312
 3月30日(木)まで申込を受け付けています。

樹種	苗齢	苗高(上)	一般販売価格(円)
スギ	3年生	45cm	150
		35cm	149
アカマツ	2年生	20cm	72
クロマツ	2年生	20cm	92
カラマツ	2年生	45cm	92
コバハン	2年生	60cm	60
ヒバ	5年生	30cm	400
		25cm	370

※価格は消費税込みです。価格には、運賃・手数料が含まれます。苗木の畑直接受取りは、価格より3円引きです。

3月31日は

国民健康保険税 9期

の納期限です。
 忘れずに納めましょう。
 ※口座振替をされている人の引き落とし日は3月27日(月)です。残高をご確認ください。
 ※町税の納付は便利で安全確実な口座振替をご利用ください。

関 役場税務課課税係
 121251214

退職金の準備を中小機構がお手伝いします

安心・安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします
年金だけでは不十分で、不安がある
自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

制度の特長

- 1 経営者のための退職金制度**
 小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。
- 2 掛金は全額所得控除**
 掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。
- 3 受取時も税制メリット**
 共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

- 契約者貸付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止

契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください



みちのく・ふるさと貢献基金 助成事業 募集のお知らせ

問 公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金事務局
☎ 017-774-1179
HP <http://www.michinoku-furusato.or.jp>

公益社団法人みちのく・ふるさと貢献基金法人では、県内における個人、団体、NPO法人、企業などが地域の発展、地域貢献に資するために地域資源を活用・創造する活動や、健康増進、医療、福祉、環境に関連する活動に対し、必要な費用を助成しています。

■応募期間…4月1日(土)～6月30日(金)

■応募方法…ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して財団事務局へ送付してください。

■助成金…必要費用以内で、100万円を限度

国家公務員採用試験のお知らせ

問 人事院東北事務局第二課試験係
☎ 022-221-2022
HP <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

人事院では、国家公務員採用総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)及び一般職試験(大卒程度試験)を実施します。

申込みはインターネットにより行ってください。

【総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)】

申込受付期間：3月31日(金) 9:00
～4月10日(月) (受信有効)

第1次試験：4月30日(日)

【一般職試験(大卒程度試験)】

申込受付期間：4月7日(金) 9:00
～4月19日(水) (受信有効)

第1次試験：6月18日(日)

なお、申込方法や受験資格などの詳しい内容は、人事院HPまたは問合せ先へお願いします。

図書館情報

今月のMiniコレクション

○テーマ「衝撃の結末！」

「え？なんで?!」と叫びたくなるような衝撃の結末を迎える作品を集めました。

文字を追う中で自分の推理が気持ちよく裏切られる快感をお楽しみください。

新刊情報 [一般]

『罪の声』	塩田 武士	講談社
『サロメ』	原田 マハ	文藝春秋
『翼がなくても』	中山 七里	双葉社
『しんせかい』	山下 澄人	新潮社
『三の隣は五号室』	長嶋 有	中央公論社

館内イベント 「わたしの一冊」

お気に入りの本への思いをしおりにしませんか？
思い入れのある特別な1冊への感想や心に残ったフレーズを募集します。

図書館にある専用の応募用紙に記入し、応募箱に入れてください。

応募の中から、図書館がしおりにする作品を選び、しおりを館内で配布します。

ぜひご紹介ください。

町教育委員会からのお知らせ

問 教育委員会総務学務課
1931

平成29年1月31日に、加藤久宜教育長が辞職しました。それに伴い、2月1日から町教育委員会は新教育委員会制度へ移行しました。新制度では、教育委員長の職が廃止されるとともに、新「教育長」を町長が任命することになります。

町教育委員会では、任命されるまでの間、宮越寛教育委員が教育長職務代理者に就任し、職務を行ってまいります。

心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域

3月15日 葛西 嘉四次
秋元 武弘

相談場所 役場相談室2
相談時間 午前9時～正午

小泊地域

3月15日 長内 エツ子
竹谷 利男

相談場所 日本海漁火センター
相談時間 午前9時～正午

なんでも行政相談

日時…3月22日(水) 午前9時～正午
場所…中央公民館

行政相談委員…秋元 武弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

◆冬の企画展「キルトの仲間たち作品展」
ち作品展「ぬくもりの心」
「せしなひとへ」開催中！



日時：3月19日(日)まで 午前9時～午後4時45分(最終日は午後3時まで)／休館日：毎週月曜／入館料：無料(ただし常設展は通常料金)



◆武田小3年生来館！
武田小学校3年生が、博物館本館と今泉分館を訪れました。テーマは「昔の暮らし」。本館



では、豊岡集落のジオラマなどを観察し、武田地区の昔の生活を調べました。今泉分館へ移動後は、農具や林業道具ほか、興味を引いた資料を撮影したりスケッチしたりしました。一目見ただけでは、用途がわからない珍品は、クイズにして参観日で発表するそうです。お父さん、お母さん正解できるかな？



◆中里小3年生来館！

中里小学校3年生が、今泉分館を訪れました。水運搬用の「天秤」や、「足踏脱穀機」「唐箕」などの農具を体験。畚で苗や肥料を運び、三本鎌で田起し、水車で田に水を入れ、馬鋤で代掻き、田植型で目印をつけて田植え、夏には除草機で草取りなど、農家の仕事の大変さを実感した様子です。また、「囲炉裏」「蚊帳」など、家族が寄り添って質素に暮らしたかつての生活に思いを馳せました。



119 消防&救急

路面凍結に注意

今年の冬は例年に比べ降雪が少なく天候が安定し、過ごしやすい冬となっています。日中は気温が高く路上の雪が溶けて、濡れた路面が夜の冷え込みにより凍結し、事故に繋がる可能性があります。事故を起こさないためにも、冬期間は早めのブレーキ、制限速度を守り、いつも以上に気をつけて運転しましょう。

もしも事故を起こしてしまったときは、痛みやケガが軽度なものであっても、救急車を呼ぶようにしましょう。事故直後に歩くことが出来たり大したケガでないと思っても、後から重症になる場合があります。見た目だけで判断せず、救急車を呼ぶことが大切です。



緊急車両の通行にご協力をお願いします！

冬期間は、雪により道幅が狭くなります。また、普段通行している道でも容易に通行出来なくなることもあります。緊急車両がスムーズに通行出来るよう、運転中の皆様のご配慮ご協力をよろしくお願いします。

火災・救急要請は119番へ



火災・救急要請は、119番へ通報するようお願いします。

消防署の加入電話へ通報すると、一旦消防署から本部の119番回線へ転送することになります。

スムーズな出動をする為にも、火災・救急要請は、119番へ通報するよう、ご協力をお願いします。



中里 ☎(57)2111
小泊 ☎(64)2111

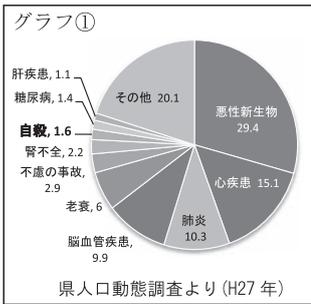
いのちの大切さを考えよう

3月は

自殺対策強化月間です

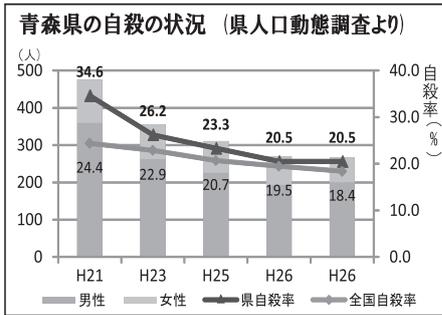
これまで、私たちのいのちを脅かすものとして、がん、心臓病、脳卒中の3大疾病に大きな注意が払われてきました。しかし最近では、新しい国民病とも言われる「うつ病」やこころの不調が関係する「自殺」が増加し、深刻な社会問題となっています。特に3月は生活環境の変化から、ストレスを蓄積しやすく、自殺者数も増える傾向が見られ、国では自殺対策強化月間を定め取り組んでいます。

からだの健康と同じように、こころの不調、そして自殺は決して他人事ではなく、いつ自分や周囲の人に起きてもおかしくない問題です。まず自殺に関する

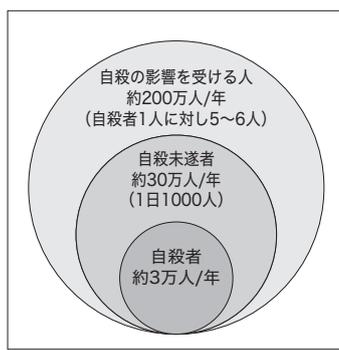


正しい知識を持ち、身近な問題として捉えることが大切です。
◆**自殺の実態、知っていますか**

厚労省の報告では、平成27年の自殺者数は約2万3千人。平成10年以降、年間3万人を超える状況が続いていましたが、平成22年以降、徐々に減少し5年連続で3万人を下回っています。青森県の現状は、自殺者数の減少率はトップですが、全国順位ワースト10位と、全国平均を上回っています。当町でも自殺者数はゼロではなく、無関係とは言えない状況が続いています。



自殺は、個人の自由な意思や選択と思われがちですが、様々な要因で心理的に追い込まれた末に選ぶ死です。実際に病気や障害などの「健康問題」や、失業・多重債務などの「経済・生活問題」、介護疲れなどの「家



自殺を防ぐために 知っておきたいこと

- 自分自身が出来ること
- 誰かに話してみよう

悩みやストレス、眠れない、そんな時は一人で抱え込まず、誰かに相談しましょう。思いを打ち明けてホッとしたり、自分一人では気づかない問題点を見つかりやすくなります。

- 身近な人ができること
- いのちのSOSサインを見逃さないで

自殺を考えている人は様々な

- サインを発しています。まずは変化に気づくことが大切です。
- 口数が減って、元気がない
- 「消えてしまいたい」「死んだら楽になる」などと口にする
- 大量のお酒を飲むようになる
- 身なりや健康に気を遣わなくなる
- 身の周りのものを片付けだす
- 長い間会っていない親戚や友人に連絡をとる

*大切ないのちを守るために 私たちができること

- ① 気づき
家族や仲間の「いつもと違う」様子に気づいて、声をかける。
- ② 傾聴
本人の気持ちを尊重し、責めたり、否定したりせず、じっくりと耳を傾けましょう。
- ③ つなぐ
早めに相談窓口や医療機関など専門家に相談するように促す。場合によっては、その人を一人にしないことも必要です。相談を受けた側も抱え込まず、本人の了解を得て、身近な人や専門家に相談しましょう。
- ④ 見守り
話を聴いた後も、温かく寄り添いながら、じっくりと見守る。町では、自殺予防を目的としたこころの健康づくり講演会や

健康相談(0がつく日)、ゲートキーパー育成講座を行っています。ゲートキーパーとは、自殺しようとしている人のサインにいち早く気づいて、適切な対応ができる人のこと。
かけがえのない「いのち」を守るために、私たちにできること、考えてみませんか。

*講演会のお知らせ

■日時：3月23日(木) 9時30分~11時

■場所：中里中央公民館

笑いとヨガの呼吸法を組み合わせたエクササイズです。笑うことで多くの酸素を体に取り入れ、心身にすっきりし、元気になることができます。

心の健康相談窓口

眠れない、つらい…	
・中里保健センター	TEL57-3920
・小泊保健センター	TEL64-3748
・五所川原保健所	TEL0173-34-2108
・県立精神保健福祉センター	TEL017-787-3957
こころの電話	TEL017-787-3958
・NPO法人いのちの電話	TEL0172-33-7830
子どものこと	
・五所川原児童相談所	TEL0120-75-6552
多重債務など	
・青森県司法書会総合相談センター	TEL0120-940-230
DVや離婚、セクハラなど	
・青森県女性相談所	TEL017-781-2000

まちのイベントカレンダー

3月			4月		
16	木		1	土	
17	金		2	日	
18	土		3	月	13:30~ 保健協力員・食生活改善推進員辞令交付式(パルナス)
19	日		4	火	
20	月		5	水	
21	火		6	木	
22	水	14:30~ 運動教室(中央公民館)	7	金	
23	木	12:50~ 乳児健診(中里保健センター)	8	土	
24	金		9	日	
25	土		10	月	
26	日		11	火	
27	月		12	水	
28	火		13	木	
29	水		14	金	10:00~ 高齢者教室(中央公民館)
30	木	10:00~12:00 心の健康相談(中里保健センター)	15	土	
31	金				

NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS MAR 2017.

山本 幸74 (向町下)
 徳田 正雄81 (富野)
 野上 サワ74 (下高根)
 中村 ツヤ77 (尾別)
 成田 柁則77 (五林)
 福士 要一81 (上高根)



お悔やみ申し上げます
 城戸 友子 (神奈川県)
 野宮 正人 (小泊派立)
 小山内 優佳 (つがる市)
 久保田 竜太 (浜町)
 佐々木 涼子 (南部町)
 木村 匡宏 (宮野沢)



結婚おめでとう
 山川 輝 (男・真史) 豊島
 北畠 由菜 (女・一樹) 薄市下
 小野 結翔 (男・学) 下高根
 徳田 圭冬 (女・靖人) 富野
 石川 流煌 (男・憲幸) 芦野
 成田 翠恋 (女・淳) 宮野沢



お誕生おめでとう
 (1月届出分)
戸籍の窓口

伊藤 良三79 (浜町)
 種村 清照95 (新町1)
 小林 直光50 (新町1)
 柳谷 つや91 (若葉町)
 高杉 キヨ101 (新町1)
 瓜田 しさ87 (新町1)
 白岩 きみ106 (新町2)
 山田 榮治83 (若葉町)
 佐々木 ミワ89 (新町2)
 瓜田 賢一67 (若葉町)
 小山内 ミイ91 (今泉上)
 成田 貞一70 (上高根)
 加藤 リサ99 (向町上)
 高橋 武司86 (薄市上)
 三上 良子79 (今泉下)
 秋田 善キ79 (大沢内)
 平山 吉男89 (大沢内)
 福士 善太郎86 (薄市下)

人のうごき	
1月末現在(前月比)	
人口	11,642人(-23)
男	5,474人(-10)
女	6,168人(-13)
世帯数	5,137(-7)
出生	7 / 死亡 23
転入	5 / 転出 12

町の特産品をPRしようとなかどまりイガ米～きてけフェアが2月4日(土)～5日(日)、青森県観光物産館「アスパム」で開催されました。

このイベントは、町の業者などが参加し、海産物、野菜、加工品を販売するブースを屋内外に設置、青森市民や観光客などをターゲットに町の特産品をPRしました。

今年は天候に恵まれ快晴となり、昨年よりも多くの来場者が訪れ、町の特産品を買い求めていました。

屋外では、応援に駆け付けた当町イメージキャラクターの米ケル、イカリん、米ケルJr.がダンスを



特産品求め大行列



大きなタコに興味津々

披露し、会場を沸かせていました。

また、イカ飯早食い競争やタコ重クイズ、餅つき大会・振舞などを開催し、参加者らを楽しませました。活ダコの展示では、初めて見る大きなタコに子どもたちも興味津々で、つついたりつかんだりして楽しんでいました。会場ではアスパムの冬まつり開催もあり、さまざまなイベントが行われ、盛り上がりを見せました。

んだ！駅ナカいぐが！

いいなかどまり会
がイベント開催

町を活性化しようと若者らで結成されたいいなかどまり会(会長・成田道史)が、2月26日(日)津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間で「んだ！駅ナカいぐが！」を開催し、約300人が来場しました。

中里横笛愛好会の演奏・宮川獅子舞・太刀振りで始まり、会場を盛り上げました。その後は、押し相撲やフリフリダンシングなどの催し物が行われ、子どもたちがこぞって参加していました。押し相撲では、手と手で押し合いながら、相手を丸い円の中から押し出すというもので、身長差がある取組や、なかなか決着がつかない熱い取組が行われました。フリフリダンシングでは、頭、腕、腹につけた万歩計を制限時間内にどれだけ振ることができるかを競うもので、参加した子どもたちの一心不乱に体を動かす姿に、来場者からは応援と笑い声が聞こえてきました。

参加した子どもたちは「万歩計を振るのが楽しかった。押し相撲では負けちゃったので今度やる時は勝ちたい」と話していました。



押し相撲



豆飛ばし



フリフリダンシング

